

会 議 録

1 会議名

平成29年度第3回谷浜・桑取区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

平成29年度地域活動支援事業について（公開）

①提案者による提案説明・質疑応答

②委員協議・採決

3 開催日時

平成29年8月29日（火）午後7時00分から午後8時12分

4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 高橋誠一（会長）、安達ユミ子（副会長）、佐藤寿美子、佐藤峰生、
坪田 剛、寺島和枝、荷屋和夫、平野宏一、山田ヒロ子、横田正美
（欠席2名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、荒木係長、星野主事

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【高橋会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：山田委員に依頼

議題【協議事項】平成29年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【星野主事】

- ・資料「平成29年度 谷浜・桑取区地域活動支援事業（追加事業）提案書受付一覧」に基づき説明

【高橋会長】

では、これから各団体の提案者からお越しいただきヒアリングを行う。

最初に「No.1 地域環境保全事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.1 地域環境保全事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【高橋会長】

- ・提案者に対し質問等がないため、終了とする

— 提案者退室 —

次に「No.2 谷浜・桑取区内花壇整備及び住民交流事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.2 谷浜・桑取区内花壇整備及び住民交流事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【高橋会長】

提案者に対し質問等がないようなので、私から質問したい。

花壇の整備については、各集落で老人会が消滅している、あるいは、消滅の危機にあるという話の関連で、毎年管理していくことが大変なのでは、という意見が出ている。実際どの程度管理に手間が掛かるのかについて、教えていただきたい。

【提案No.2 谷浜・桑取区内花壇整備及び住民交流事業提案者】

町内花壇があるところでは土が固くなっているようだが、新たに腐葉土を加えれば、改良され、しばらくは維持できる。チューリップは毎年掘り起こすが、スイセンなどは花壇の奥に植えると良い、と老人会からは聞いている。今回提案する場所は、以前、外部から球根等の支援を受けていたところで、現在は町内会や老人会などが管理している。花壇の管理が出来ないため、今回提案しない場所もいくつかはあった。

【荷屋委員】

中桑取はどのように回答したのか。

【提案No.2 谷浜・桑取区内花壇整備及び住民交流事業提案者】

町内会で花壇を管理するのは大変だという話は聞いている。今回、一緒にやりたいという話は聞いていない。

【荷屋委員】

町内会ではそのような話はしていない。断られたということか。

【提案No.2 谷浜・桑取区内花壇整備及び住民交流事業提案者】

そうではない。各集落から出た話を基に計画したものである。事業が採択され確実になれば、改めて希望を取りたいと思う。

【荷屋委員】

予算は決まっているが、そのようなことはできるのか。

【提案No.2 谷浜・桑取区内花壇整備及び住民交流事業提案者】

後で調整できるものもある。

【荷屋委員】

管理ができないという回答があったのであれば良いが、これだけの町内の名前が挙がっている中で入っているところと入っていないところがあり、疑問に感じた。

【提案No.2 谷浜・桑取区内花壇整備及び住民交流事業提案者】

以前、中桑取から話を聞いた際、管理について難色を示しており、賛同を得るのは難しいと感じたため、今回は聞きに行かなかった。申し訳ない。改めて希望を取り直したい。

【高橋会長】

町内会長連絡協議会の会議は年に1、2回しかない。今年の会議で議論するには間に合わないと思うが、今後、会議できちんと議論し、相談してもらえれば、今の指摘も含めて改善できるのではないかと思う。

もし、今年度中に実施したいということがあれば、お互いに調整は可能かと思われる。

【荷屋委員】

県道沿いの町内では、花壇の植栽を行っているところが多いため、本提案は、県道沿いの町内を中心に行うのだと思っていたが、県道沿いではない町内も提案書には載っていたため質問をした。

【高橋会長】

・他に質問等がないため、終了とする。

次に「No.3 上越市谷浜・桑取区音楽活動交流事業(2)」について、提案者へ補足説

明を求める。

【提案No.3 上越市谷浜・桑取区音楽活動交流事業（2）提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【高橋会長】

- ・提案者に対し、質問等がないため、終了とする。

— 提案者退室 —

（提案No.4は高橋会長が提案者のため、安達副会長が議事進行）

【安達副会長】

次に「No.4 たにはま公園で気球に乗ろう事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.4 たにはま公園で気球に乗ろう事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【安達副会長】

提案者に対し、質問等はあるか。

【横田委員】

たにはま公園で実施とのことだが、安全性については問題ないのか。インストラクター一等は付くのか。

【提案No.4 たにはま公園で気球に乗ろう事業提案者】

業者が対応し、保険にも入る。最近では焼山温泉で7月に1回実施しており、谷浜小学校の何周年かの記念行事においても、当時、たにはま公園が工事中だったが、小学校のグラウンドでは気球を上げるだけの面積が取れず、急きょ工事中のたにはま公園で実施したという経緯もある。

【横田委員】

空中に上がってから、どこかを一周するのか。

【提案No.4 たにはま公園で気球に乗ろう事業提案者】

紐をつけて、上がるだけである。

【佐藤寿美子委員】

珍しいので、子供は喜びそうである。

【山田委員】

1回で気球には何人乗れるのか。

【提案No.4 たにはま公園で気球に乗ろう事業提案者】

子どもだと10人乗れ、大人だと7人乗れる。イベント当日は、400人ほどの利用を想定しており、午前3時間、午後1時間で実施する予定である。

【平野委員】

搭乗費は無料なのか。

【提案No.4 たにはま公園で気球に乗ろう事業提案者】

提案書には書いていないが、参加人数を調整するため、搭乗費も無料とはせず、整理券として100円を徴収することも検討している。

【安達副会長】

・他に質問等はないため、終了とする。

(補足説明が終了したため高橋会長が議長を務める)

【高橋会長】

次に「No.5 谷浜小学校・潮陵中学校記念植樹の剪定事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.5 谷浜小学校・潮陵中学校記念植樹の剪定事業提案者】

・提案書に基づき補足説明

【高橋会長】

提案者に対し、質問等はあるか。

【平野委員】

何本植樹するのか。剪定だけか。

【提案No.5 谷浜小学校・潮陵中学校記念植樹の剪定事業提案者】

剪定だけである。杉だけを見ても、木々が接触している。杉の形を整えるため剪定を行いたいと考えている。

【平野委員】

では、今まで何本植樹されたのか。

【提案No.5 谷浜小学校・潮陵中学校記念植樹の剪定事業提案者】

5本である。今まであった3つの学校(有間川・高住・長浜小学校)を示す3本と、保護者と学校がそれぞれ1本という意味で5本ある。

【高橋会長】

・他に質問等がないため、終了とする。

— 提案者退室 —

次に「No.6 『くわどり謙信公トレイル大会』を通じた地域活性化事業」について、提案者へ補足説明を求める。

【提案No.6 「くわどり謙信公トレイル大会」を通じた地域活性化事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【高橋会長】

提案者に対し、質問等はあるか。

【安達副会長】

雨が降っても実施するのか。

【提案No.6 「くわどり謙信公トレイル大会」を通じた地域活性化事業提案者】

小雨なら実施する。

【高橋会長】

他に質疑を求める。

【安達副会長】

実行委員に「つくしの会」とあるが、メンバーはどのような方が入っておられるのか。

【提案No.6 「くわどり謙信公トレイル大会」を通じた地域活性化事業提案者】

J Aの女性部である。構成員については、桑取地域で役職のある方や団体等を調べて、入っていただいている。

【高橋会長】

大変なイベントであり、地域の方は苦勞されていると思う。その辺について提案者からの補足説明を求める。

【提案No.6 「くわどり謙信公トレイル大会」を通じた地域活性化事業提案者】

昨年の10月10日にプレ大会ということで、実際に「くわどり市民の森」の鏡池まで走るコースで大会を開催した。その時には桑取町内会長連絡協議会やJ Aの女性部、そして桑取フレッシュ生産組合などからも参加していただいた。当大会は非常にこの地域を県外にもアピールできる良い大会であるので、これから毎年続けていけたらと考えている。

今回は南葉山の登山道を使うが、今後は春日山城まで走るコースを考えている。そうすると当然、谷浜の海沿いの道を走るようになる。他で実際に50キロを走る大会があったりもするが、今回は距離が短いほうの大会である。毎年続ける中でより良い形で広

めていければと思っている。

【高橋会長】

説明に対し、質問等はあるか。

【佐藤寿美子委員】

締め切りが9月20日となっているが、すでに何人かの申し込みあったのか。

【提案No.6 「くわどり謙信公トレイル大会」を通じた地域活性化事業提案者】

実際の大会の運営はトレイルランナーズという団体が行うが、この団体は全国区でいくつかの大会をイベントとして開催するプロの集団である。その方々がインターネットや会の参加者を通じてPRをしていただいている。9月時点での参加者も分かるが、当日の参加も受け付ける。ちなみに前回のプレ大会に関しては、120人弱の参加者であった。

【平野委員】

先ほど、「毎年続けたい」とおっしゃっていたが、今回の申請で来年、再来年もできるということか。

【提案No.6 「くわどり謙信公トレイル大会」を通じた地域活性化事業提案者】

今回の提案では、基本的に消耗品も含まれるが、備品として今後も使えるものが半分くらい、残りは当日の人件費等の部分は次回も必要になってくると思う。今回、実際に実施する中で参加人数や協賛金などの部分も含め、考えている最中である。今後、継続していく中では、地域活動支援事業等に捉われず、自主的に収入を得る方法を考えていかなければならないと考えている。ただ、基本的には地域の方々のボランティアである程度運営できればと思っており、今後広がりを持てれば交通誘導などの部分に関しては費用が掛からなくなってくるのではと考えている。

【安達副会長】

組み立て式ステージ分解後の収納場所はどこになる予定か。

【提案No.6 「くわどり謙信公トレイル大会」を通じた地域活性化事業提案者】

ステージについては使用後、解体してくわどり湯ったり村にて保管させていただきたいと考えている。

【高橋会長】

・他に質問等はないため終了とする

— 提案者退室 —

以上でヒアリングは終了したので、続いて委員協議に入る。

最初に「No.1 地域環境保全事業」について、質疑を求めるがないため、採決に入る。
採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.2 谷浜・桑取区内花壇整備及び住民交流事業」について、質疑を求めるがないため、採決に入る。採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.3 上越市谷浜・桑取区音楽活動交流事業(2)」について、意見等を求めるがないため、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.4 たにはま公園で気球に乗ろう事業」について、意見等を求めるがないため、採択に賛成の委員の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.5 谷浜小学校・潮陵中学校記念植樹の剪定事業」について、谷浜小学校・潮陵中学校後援会の副会長をしていることもあり、補足説明をする。

- ・予算には、木を剪定するだけの費用ではなく、庭師1人分の人件費も計上した。
- ・先ほどの補足説明では、小学校の記念庭園の話のみであったが、中学校の入口の記念碑が桜の枝で隠れているため、それも整理する予定である。

【平野委員】

桜の木も含めると6本になる。先ほどの説明では、5本という話だった。

【高橋会長】

小学校にある北山杉は5本である。中学校の部分については、1日の範囲内で対応してもらおう。

続いて、採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.6 『くわどり謙信公トレイル大会』を通じた地域活性化事業」について、意見等はあるか。

【山田委員】

「謙信公」の文言を使用することを市は了解しているのか。

【安達副会長】

農村振興課が「課題なし」と回答をしている。

【高橋会長】

市は「謙信公」についての周知にも役立つと考えているのではないか。

【佐藤峰生委員】

協賛企業からの支援はあるのか。

【佐藤寿美子委員】

それは提案書に書いてある。

【平野委員】

先ほど提案者から、これからは無料ではなく、参加費を取り、それで不足分をカバーすると言っていたが、その辺はどうか。

【佐藤寿美子委員】

参加費はすべて主催者のトレイルランナーズに入る。提案団体の収入にはならない。

【高橋会長】

昨年、参加した知人が言っていたが、参加費は7,000円であり、名前入りTシャツが参加賞となっているそうである。

【佐藤寿美子委員】

参加費は主催者に入り、地元にはお金は一切入らない。そのため、去年は、地元はボランティアとして特産品やお土産品などの出店を行い、その売り上げが地元の収入となった。

【平野委員】

そうなると毎年足りなくなるのではないか。

【佐藤寿美子委員】

そのため、支援をお願いしている。

【横田委員】

まずは一年間の収支を見て、今後を検討していけば良いのではないか。

【佐藤寿美子委員】

去年話し合いをし、毎年開催することとした。日付も10月の第3日曜日とすることをまず決めて、活動を始めた。

【平野委員】

一番大事なお金の問題がまだ何も決まっていけないのではないか。

【佐藤寿美子委員】

まだ決まっていない。

【横田委員】

全国の同様の大会を参考としたら良い。

【佐藤寿美子委員】

他の大会を見てきたが、地域の人たちが無報酬で動いていた。

【横田委員】

それをどこから捻出するか等、いろいろな手立てを検討したら良い。

【佐藤寿美子委員】

走者への食べ物の提供も地元が無償で提供している。それをどうするかが問題である。

【平野委員】

食べ物等を提供しないと開催できないのか。

【佐藤寿美子委員】

そのようなことをして、名前を広げてもらわないと人が集まらない。去年も桑取地域の方たちの活躍が新聞に載った。

【山田委員】

参加費はすべて主催者の収入となるのか。

【佐藤寿美子委員】

そうである。

【佐藤峰生委員】

トレイルランナーズとはイベントの運営団体である。その運営団体の大会を桑取地域で開催するということである。ある意味では桑取地域のPR活動でもある。地元をPRするために大会を呼ぶということである。

【荷屋委員】

今回はやってみるしかない。参加費は末端まで来ないのでボランティアでやるしか

い。

【高橋会長】

地元の熱意等、どういうサービスをするかにより、どれだけ人が集まるか決まってくる。地元が何もせず、参加費だけでも競技そのものはできる。しかしそうなると、あんなところに行っても駄目、ということで参加者がいなくなってしまう。

【滝澤センター長】

このレース自体はトレイルランナーズという団体が運営するということであり、募集、PR、保険等のレースの運営については団体が行う。今回の提案については、地元で開催するにあたり、実行委員会の皆さんがコース整備や表彰台など、レースへの間接的な部分と地域の活性化に繋がる部分を提案されている。トレイルランナーズが行うことは走者を募集し、レースを開催することである。実行委員会は大会の開催のための環境を整え、盛り上げるために、今回備品等を最初に用意したいということである。

ポスターに協賛と書いてあるが、これはあくまでもレース自体の協賛者である。そのほかに実行委員会で来年以降、自らできるようにということで先ほど説明されたかと思う。

【高橋会長】

他に何かあるか。

【平野委員】

ボランティアの割には91万円も補助金を出させるのはどうかと思う。この支援がないと行事ができないということはどうかと思う。

【横田委員】

1年目は大体このようなものである。

【佐藤寿美子委員】

徐々に減るかとは思う。最初、参加者はくわどり湯ったり村に集まるが、その前に参加者の駐車場が不足してしまう。そうなった場合、旧桑取小学校を駐車場として利用する。そこからの移動でバスをお願いしている。

【高橋会長】

100キロマラソンでも、1人5,000円くらいは徴収している。道路を走るだけでどうしてそれ程の会費が必要なのかと言われるが、そういう意味でも内訳について、道路整備などの実際の経費の内訳についての参考資料があれば良いかと思う。地元のボ

ランティアなくしては、競技は成り立たない。

【滝澤センター長】

参加費というのは、レースをするだけで大体終わってしまうものかと思う。100キロマラソンなどについては、実行委員会などでやっている。最初から収入を得るという話になると違う仕掛けが必要となる。今回の提案は桑取地区に来ていただいて、まずは地域を盛り上げるということが目的となっている。

【高橋会長】

今回だけでなく、来年以降も続けるとなれば、今回のようにお金の話にならないように、そのようなことも皆で分かっていたほうが良い。単年度の予算と、次年度へ引き継げるものが分かってくる。バスの経費などは毎年必要になるものである。

【佐藤寿美子委員】

今年やってみて、どのような具合なのか見ていけば良いのではないかと思う。

【高橋会長】

それでは採決に移る。採択に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

では、採択とする。

- ・採決の結果、残額7万5,000円が生じたが、3次募集を行わないことで委員の同意を得る

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【星野主事】

次回協議会の開催について、9月下旬から10月上旬を予定している。現段階で都合の悪い日があれば教えていただきたい。

【安達副会長】

事務局の都合の良い日を何日か決めていただき、その中でアンケートを取りFAX等で委員から返答するというのが一番良いのではないかと考えている。

お手数でも、それをお願いしたい。

【高橋会長】

では、現段階で申し出がないのであれば、後日各委員の都合を聞き、その中から開催日を決定することとする。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。